

simc News Letter

Sendai International Music Competition

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第7回仙台国際音楽コンクール【開催日程】ピアノ部門:2019.5.25(土)～6.9(日) ヴァイオリン部門:2019.6.15(土)～6.30(日)

第7回仙台国際音楽コンクール ピアノ部門 セミファイナル演奏レポート 第1日目

ピアノ部門セミファイナル
2019年5月31日(金)～6月2日(日)
日立システムズホール仙台
5月31日(金)セミファイナル第1日 18:00～

萩谷由喜子(音楽評論家)



20. 小林 海都 日本

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58

小林海都は4年前にベートーヴェン・ピアノ協奏曲全曲演奏会シリーズでも聴いた。そのときは彼が第5番で、師のピリスが第4番だった。第5番にしては抑制を利かせた表現だと感じたが、今回の第4番は第5番よりも彼のテンペラメントに似つかわしく、この曲の特質と魅力をあますところなく彫琢していた。背筋の伸びたきれいなフォームから開始。優しく響く、深みのある音だ。自分の音をよく聴きながら演奏を進めるようすに彼の成熟が感じられる。師のピリス譲りか、派手なアピールは一切なく、ひたすら作品の心を伝えようとするアプローチは禁欲的さえあるが、よく聴けば随所に主張が息づく。小さな単位の中で細かくテンポを動かし、その小宇宙内で音楽の言葉を完結させ、それを重ねることによって、独創性に富んだこの傑作協奏曲全体を見事に構築していた。雑音のない美しい音色も第2楽章の抒情性と幻想味の表出にうってつけ。フィナーレも爆発しすぎず、品よくまとめた。



30. パク・スホン 韓国

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37

ドラマティックな第3番を選んだだけあって、パク・スホンは小林海都とは対照的に自己アピールを前面に押し出したピアニストである。逸る心がそうさせたのだろうが、ソロの出の最初の3つの上昇句に力が入りすぎ、2つめに音をひっかけたのが惜しい。本人もそのあとは懸命な挽回を試みて、極力美しく弾こうと努力しているようすが手に取るようにわかる。基本的な演奏力量のある人なので、パッセージも鮮やかに弾きこなし、技巧的な箇所も難なく通過していく。こうした華麗な箇所のほうが彼に向いており、第1楽章の第2主題や第2楽章のような柔和でおとなしい楽想の表現となると、やや平凡な演奏に聴こえてしまうのが残念だ。第1楽章のカデンツァはベートーヴェンの自身のものが力演された。第3楽章では再び入念な表情付けがなされて、熱のこもったコーダで爆発的に結ばれた。全般に、この曲をヴィルトゥオーゾの協奏曲と解釈しての演奏だった。



■お問い合わせ先／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: https://simc.jp



35. 佐藤 元洋 日本

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37

後半は佐藤元洋から始まった。オーケストラによる第1呈示部の間中、じつとオーケストラの動きに目をやりながら心を落ち着かせ、いよいよ、ソロの番を迎えると3つの上昇句を手堅く、しかし印象的に弾き、続くオーケストラと応答を重ねる部分も互いに音を聴きあって対比的な性格を打ち出しながら丁寧に弾き進める。この人は高いテクニックを持ちながら、その誇示に走ることなく、作品の深奥に届く表現のためにそのテクニックをどう生かすべきかが常に念頭にあるようだ。それが共感度の高い演奏となってホールを満たした。もう一つ、指の技術とペダルの技術がよく連動して美しい音と響きを生んでいたことも美点である。だから、カデンツァでは倍音が実にゆたかに響き、第2楽章では柔らかなウェーブのようなアルペジオが聴かれた。フィナーレでも応答句が大切にされ、オーケストラと遠慮なく掛け合い響きあって、まるでコンサートのような演奏によって会場を盛り上げた。



32. ダリア・パルホーメンコ ロシア

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58

最後は紅一点のダリア・パルホーメンコ。第4番を選び、冒頭和音をやや重めに響かせたのち、続く叩くモチーフは静かに、丁寧にそれに続けた。全曲のレング・ブロックとなるこのモチーフは本来「叩く」という動きから発生しているだけに、力が入りすぎて本当に鍵盤を叩いてしまうと音楽として台無しだが、彼女はこのモチーフをそっと優しく、心を込めて弾いていた。その点は前半の小林海都も全く同様で、兩人ともこの曲の真髄をよく理解している。さて、パルホーメンコだが、この日の4人のうちではもっとも素直な感情表現に富んだピアニストである。とにかくよく歌い、何を表現したいかを明瞭に伝えてくる。もうひとつ言うと、音の肉付きがよく、ボリュームのあるふくよかな音を持っていることが彼女の特質であり、武器である。その武器を駆使してよく歌うので、聴いていて楽しい。曲のメリハリのつけ方もうまく、歌謡的な部分は流麗で、フィナーレのコーダは豪快だった。

♪コンクールの演奏をYouTubeでお楽しみいただけます。

第7回仙台国際音楽コンクールでは、両部門の予選からガラコンサートまでの全演奏のライブ配信を行います。また、演奏日の翌日から9月30日(月)まで期間限定でオンデマンド配信も行いますので、ぜひご視聴ください。
simc.jp/7th_competition/

♪最新情報はFacebook、twitterから!!

仙台国際音楽コンクール公式Facebook、twitterでも最新情報を配信しております。
Facebook: @SendaiInternationalMusicCompetition
twitter : @sendai_simc

第7回コンクール チケット情報

ー プレイガイドー

仙台国際音楽コンクール
公式サイト、
日立システムズホール仙台、
仙台銀行ホール イズミティ21
ローソンチケット、
チケットぴあ、仙台三越

※詳細は公式サイト
<https://simc.jp>を
ご覧ください。

	ピアノ部門	ヴァイオリン部門	座席	料金
予選	5/25 (土) 販売終了 5/26 (日) 販売終了 5/27 (月) 販売終了	6/15 (土) 12:30～ 6/16 (日) 12:30～ 6/17 (月) 10:30～	全席自由 日時指定	1,000円
セミファイナル	5/31 (金) 販売終了 6/ 1 (土) 14:00～ 6/ 2 (日) 14:00～	6/21 (金) 18:00～ 6/22 (土) 14:00～ 6/23 (日) 14:00～	全席指定	S席 3,000円 A席 2,000円
ファイナル	6/ 6 (木) 18:30～ 6/ 7 (金) 18:30～ 6/ 8 (土) 完売	6/27 (木) 18:30～ 6/28 (金) 18:30～ 6/29 (土) 15:00～	全席指定	S席 3,000円 A席 2,000円
入賞者記念 ガラコンサート	6/ 9 (日) 完売	6/30 (日) 14:00～	全席指定	S席 4,000円 A席 3,000円
審査委員による マスタークラス聴講券	6/ 3 (月) 13:00～ 6/ 4 (火) 13:00～	6/24 (月) 11:00～ 6/25 (火) 11:00～	全席自由 日時指定	一般 1,000円 学生 500円



■お問い合わせ先／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: https://simc.jp